社説

軍事行動の一段落
皇軍錦州入城　以後建設舞臺

匪賊討伐の皇軍は、三十一日賊匪を逐ひて既に溝幇子に入つた。更に元旦には、飛行機によりて錦州方面の賊狀を偵察すると同時に、軍の行動を起した。二日には大部分が錦州に入り、三日には我軍の手によりて錦州全部の治安を維持するに至るであらう。曾つて錦州に、舊政權の遼寧省政府が建設されてより蒙治安の破壞を計畫した。其の其正規兵の駐屯せるは云ふまでもないが、此れを中心として滿爲めに滿蒙各地の匪賊、及び匪賊化せる正規兵を買收し、又は招撫し、彼此聯絡を執つて日本軍隊の背側を窺ひ、且つ日本國民の生命財産に脅威を與へた。日本軍は始めより自衛の爲めに滿洲の安寧秩序の維持に當つたのだが、各地匪賊が、錦州正規兵と協力呼應して我軍の目的を阻止するに於ては、徹底的に彼等を剿滅せねばならぬ狀態になつた。

◇

錦州舊政權は、匪賊に因る滿洲攪亂策が功を奏せざるを見て灤州退却の計を立て、三十日三十一日に渉つて其大部分が退却を終つた。日本軍は固より正規軍と戰爭するを目的と爲すものでないから、其退却後に入城して、治安を維持する筈である。之れによりて滿洲匪賊の攪亂本部が消滅した。もとより彼等は灤州に在りても、矢張り同樣の計策を行ふであらうが、其各地に及ぼす影響には大差あるに相違ないから、爾後各地匪賊の勢力は大に失墜するに相違ない。又形勢を觀望して居た各地の有力な軍人政治家輩も、愈々決心して舊政權を捨て、新政權の建設に援助を與ふるに至るであらう。

◇

我軍の錦州入城は、我軍事行動の一段落である。同時に我滿洲經營に一時期を劃するものである。今後と雖も、滿蒙各地の匪賊は容易に絶滅しない事は覺悟しなければならぬ。併し之れからは建設事業の本舞臺である新政治の形を作り上げると共に其精神を内外一般に、徹底的に知悉せしめる事が大切である。而して民衆の自治を扶掖し産業の發達を誘導せねばならぬ。匪賊の討伐でも從來とは自ら其心持を異にし、單に掃蕩するのでなく、彼等も亦三千萬民衆の中である事を思ひて、之れを愛撫して、彼等が良民の中に溶け込む樣に導かねばならぬ。勿論此等の任務は全然新政權の責任に屬するものである。併し新政權と日本國民とは既に離る可らざる關係を生じた。新政權が萬一失敗すれば、日本の權益は全部を擧げて潰滅する。日本は自ら生きる爲めに、新政權の成功に援助せねばならないのである。

◇

軍事行動一段落の時に當つて吾人は殊に我軍隊の功勞偉大なるを思ひ、其の辛勞に感謝の意を表する。同時に今後國民は更に重大な覺悟を持つて建設事業に當らねばならん事を注意する。

政界名士の政局觀

内外殊の外多事多難の際、對外的には大いに帝國の威信を發揚し、對内的には絶對的國民の信望を繫ぎ以て「所謂諫鼓苔深うして鳥さまらず」の泰平を謳歌せしめねばならぬ筈であるが、事實は果して何うであらう、國民は犬養内閣を中心として現下の政局を何と見るか。之を政界諸名士の眞實なる叫びに聽け。

金輪再禁は救世的善處策
研究會子爵　前田利定

犬養内閣の出現により瀕死の狀態にあつた我經濟界が兎も角一先づ息をついだ事は爭へぬ事實である。これから後の財界建直しや、事茲に至つた原因等について議論を闘はせるとすれば、幾らもいふことはあらうけれど、この際犬養内閣の手によつて金の輸出再禁止を斷行した臨床手術に就いては何等議論の餘地はないものと思ふ。從つて金の輸出再禁止に關する緊急勅令案が議會に提出された場合、民政黨と雖も簡單に反對する事は出來まい。依つて色々といつては見るかも知れぬが、結局最早決行された後のことだから致し方がないとでもいつて承諾するに至りはすまいか。さうすれば理屈はどうつけたとしても金の輸出再禁止を是認した事となり、從つて民政黨が行つた金の解禁が誤つてゐたといふ事を表書することにもなるから其點民政黨としては態度を定めるのに餘程苦いだらう。そこへ行くと政府や與黨は金の輸出再禁止は持論でもあり、又誰からもあの際已むを得ぬものと認められてゐるだけ非常に樂な譯である。次に明年度の豫算案だが民政黨内閣の手になつたものを大體其儘出されたのでは反對の仕樣もあるまい。問題は増税財源を公債財源に變へられた點と、減債基金の繰入を一部中止された點で、それをも忍んで贊成出來るかどうかだが、内部に大きな龜裂を生じてゐる民政黨としてはこれに贊成すればするでごたつくであらうし、反對すれば又反對したで效何ないふものが出たりして、さう手安く片づけられないであらうが、どの途反對すれば解散するのはきまつて居り解散は誰も嫌ひだからこの國難に臨んでは擧國一致が必要だとでもいふてあらう。

議會は問題なし
公正會男爵　船越光之丞

民政黨内閣、就中井上前藏相の財政經濟政策は將に殺人政策であつた。この政策の行詰りは前内閣と雖もよく熟知してゐながら、行が……

不信任案で火蓋を切るか
同和會　倉知鐵吉

我對支政策は犬養内閣の出現によつて完全に確立されるものと思ふ。然し其結果我國の主張が容易に貫徹されるに至るかどうかは疑問である。例へ如何なる外交政策をとつても對手が對手である以上さしたる效果を納め得るものとは期待されない。けれども退嬰的自屈外交によつて生ずる幾多の派生的弊害だけは確に排し得るであらう。其點大に犬養内閣の滿蒙政策に望みを囑してゐる。次に内政問題として最も重要なことは金政策の是非である。現内閣の金政策に關する褒貶は表裏相半はしてゐるやうに見られるが、これは何れも割引して聞かねば正鵠をつかむことは出來ない。……

犬養内閣を信頼せよ
政友會　植原悦二郎

議會の開會を控へて政變のあつたことは珍しい現象である。……

萬物竝育而不相害　道竝行而不相悖
秦豊助

明日への新しき準備、覺悟が必要
大連民政署長　辛島知己

多事なりし年は去年と暮れて、茲に多望なる昭和七年の新春を迎へました。私は何よりも先づ大連民政署管内住民諸君と共に、皇居を遙拜致しまして吾皇室の御繁榮を壽ぎ奉る次第であります。思ふに多望は必ずしも無難を意味せず經驗までの國家の歩み、個人の歩みを顧みる時はこの一年は又多事多難、幾多の荊棘がその前途に伏在する事を豫想しなければなりません。茲において我々は新春の來復と共に既往一年間の事蹟に鑑みつゝ、明日への新しき準備と覺悟とにそなへる事は誠に意義深いものがあると思ひます。

×

顧みれば、昭和六年はわが國にとり内外共に頗る多端の年でありました。經濟の方面におきましては、世界的不況の原因未だ除去されず、各國各々之が脫去に苦心を重ねつゝありしに拘はらず、金の偏在、ドイツの經濟的緊急狀態に加ふるに、從來大金融資本國として世界金融の王座を占めてゐた英國の金本位制停止等經濟變化の影響を被り、わが國も亦金輸出再禁止の已むなき情勢に立ち至りました。申す迄もなく一國經濟の消長は、國民生活に至大の關係あるのみならず、實に一國將來の運命を卜するものでありまして、わが國内經濟の外延をなし、共に國民經濟に貢獻しつゝある在滿邦人は、世界經濟の動きを洞察しつゝ再禁止後の財界に處すべく今日より既に大なる自覺を約束されてゐるものと言ふ事が出來ます。

×

更に昨秋測らずも惹起致しました滿洲事變につきましては、御承知の如く、わが國は未曾有の難局に立ち、事件は啻に日支間の二面關係に止まらず、引いて國際……

祖國前衛の任を果せ
滿鐵理事　米内山震作

野黨反對すまい
政友會　牧野良三

議會を解散せよ
民政黨　中村啓次郎

三月以内に民政内閣
民政黨　八並武治

無産階級の勝利へ
全國勞農大衆黨　麻生久

市民を擧げて參加せよ
大連市民旗行列
在滿日本人時局後援會

驛の陸橋上に翻へる日章旗を仰いで入城

支那側郵便局は破壞され不通

溝帮子にて　立上特派員發

卅一日午後二時四十分室村旅團閣下の石松大尉指揮の先發隊に從つて溝帮子に入れば敵兵の放火により餘燼なほ消えやまぬ停車場には二十分前營口線より來着の若松騎兵大隊が驛陸橋上に日章旗をたて一番乘りを誇つて我等をまつ、かくて營口、北寧兩線分頭部隊二隊長の歡迎的會見あり記者（立上、結城）等は直にこゝまでの實情を急報すべく軍電信隊に從ひ約六町を隔てた支那側郵便局に到れば固く門を閉ぢて人影なし、やむなく門を壞して內部に入れば電信機は勿論機械器具何一つなき空家にしてなほ電信電話の線は全部切斷されて居り手のつけやうがない、そこでやむなく引返し糧食もがなと探し求めしが全市いづれも戸をとざし諸所に急造の日章旗を掲げ歡迎と危難除けのしるしとしてゐるを見るのみ

盤山攻擊奮戰記

敵の正確な砲擊に應戰し名譽の負傷

大窪戰を物語る成瀬砲兵大尉

營口にて　森特派員發

大窪の戰鬪に左右兩足に敵彈を受け名譽の負傷をした成瀬砲兵大尉は盤山の戰ひに左の足に貫通銃創を受けた上原騎兵軍曹以下十二名の負傷兵と共に三十日午前十時盤山發午後三時河北より奉天丸にて營口埠頭に上陸直に旅館清林館內に設置された臨時野戰病院に收容された訪れた記者を快よく出迎へ「なあに、僕の傷は大したことはない、錦州攻擊には是非とも復讐戰に出かけるんだ、衛戍病院への後送は御免だ」悲壯にも元氣一杯で記者の問ひに對し當時の激戰を想起し感慨深げに語る

敵は裝甲列車三輛を連結して大窪の前方に進擊して來たのでわが軍の裝甲列車及び野砲隊はこれに應戰した、敵の射擊は存外猛烈で而も正確を極めかなりの近距離に落下し隨分苦戰でした、前回のチ、ハル方面の戰鬪に比較すると餘程優秀な砲兵で着彈觀測を怠らず**一發每に着彈距離を修正して發射するなど敵ながら却々天晴れ**なもので感心させられました、僕の部隊は執拗な敵の猛射に業を煮やして遂に敵の右側より後方に旋回し茲に展開して砲彈の洗禮を側面より浴びせたのでこれがため敵は支へきれず遂に退却を開始しました、わが軍は機をのがさず盛に猛射を浴せましたがその際丁度僕の前方に炸裂した敵砲彈破片に左下肢をやられまた右足も同時に一寸やられました、負傷は大したことはありませんよ」と大元氣である

壯烈な騎兵の活躍

二十騎で盤山驛進擊

上原騎兵軍曹は盤山攻擊戰に就いてその壯烈な騎兵の活躍を左の如く語つた

騎兵隊が一番惱まされたのは何んといつても敵の裝甲列車でわが騎兵隊は裝甲列車備付けの大砲の猛射を浴びて隨分その前進を阻まれました、これでならぬと**我々二十騎ばかりは盤山驛を一擧に襲擊すべく敵の左の方を迂回した、その時丁度わが野砲隊が到着し後方から掩護射擊をしてくれました、飛行機も爆音高く地上援護を始め**たので、やつと敵は退却を始めたのです**われわれ騎兵別働隊が盤山驛に到着した頃には敵の裝甲列車は北方に逃走した後**でした、僕が負傷したのは敵に到着する少し前双臺子河岸に塹壕を築いてゐた敵の射擊に遭ひ一小銃彈に左足貫通銃創を負つたのですが大したことはありません、占據した盤山驛には敵の小銃彈、手榴彈、砲彈及び軍需品が山のやうに積み上げられてその莫大な量には一寸どぎもを拔かれましたよ、敵の騎兵はチチハル方面の戰鬪における馬占山軍の騎兵の優秀果敢に比較して全然問題ではありません、騎兵が大窪に侵入した際多門第○師團司令部の宿舍をとるため敵が占領してゐた民家を占據したところ「日本軍は遼河上に輕便鐵道を敷設し續々として侵入し來りつゝあり、**わが軍は支那兵には生命を賭して戰はんとする士氣なし、優秀なる軍隊を至急增援派遣されんことを求む**張大將軍」と記した青輪の下書きを發見しました、これは敵の指揮官が張學良に宛てゝ增援部隊を要求したその手紙であると思ひますが支那軍の內情を暴露したもので頗る愉快に感じました

陣中の正月（安奉線兵匪討伐に活躍する我が勇士）

新春の喜び（寫眞說明）大連 萬玉榮次氏

鞍山の守備兵七名重輕傷

海城縣下の兵匪討伐

鞍山守備隊第○大隊は三十日未明鐵道西の匪賊討伐に出動し三十一日午後八時官民多數の出迎へを受け歸還したが同大隊は三十一日午前十時三十分海城縣第七區高沙坨子において大匪賊團と遭遇し砲彈を以てこれを擊退して進軍し午後一時三十分遼陽縣第八區唐馬塞においてまた大匪賊團に遭遇し盛んに猛射を浴せこれを擊退して午後八時歸隊したが右戰鬪において左の重輕傷者七名を出した

▲重傷者歩兵上等兵齋藤順太郎、歩兵二等兵若原欣一、同難波正▲輕傷者歩兵中尉塚本萬太郎、歩兵軍曹滿原忠光、歩兵上等兵齋藤勇、同小橋宇一【遼陽電話】

前小煙臺附近の匪賊と交戰擊退

味岡部隊が追擊中

前小煙臺附近の匪賊討伐に向つた大石橋獨立守備隊の岡部隊より午後一時四十分當地守備隊に出した鳩便の情報によると同中隊は午前八時四十分召二堡に達し匪賊は同地北方より西北方面並に東南方面に移動し各々四、五十騎宛の馬隊を目擊し同中隊はこれと交戰したが我軍には被害なく匪賊の損害詳細判明せざれども小銃一挺、馬匹一頭を遺棄して逃走、中隊は目下これを追擊中同午前九時十五分前小煙臺に向つた【大石橋電話】

前小煙臺到着

【鳩便第二報】午後三時五十分同中隊は正午前小煙臺に到着、劉公安局長と連絡し匪賊は同地一帶にゐる模樣であるから前小煙臺を劉公安局長に守ることを命令して午後二時同地出發歸隊の途についた【大石橋電話】

安東對岸に匪賊現る

軍資金を調達

二日午前一時三十分頃安東對岸朝鮮義州郡威下面居住の金重□方に支那式長衣を着し各自長銃を所持せる十餘名の匪賊侵入し軍資金を調達と稱し金子の提供を迫り金子若干及び毛布トランクその他目星き家財道具を強奪し支那側の九連城方面に逃走した急報により新義州守備隊警察から直に出動目下搜査中なるが、九連城に多數潛入せる便衣隊の仕業にあらずやと見られてゐる【安東電話】

內鮮融和して難局を打開

朝鮮軍司令官陸軍中將　林銑十郎

茲に昭和七年の新春を迎ふることは誠に御同慶の至りである、さて回顧すれば昨年は極めて多忙且つ重大なる各種事件發生の歲で就中滿蒙に關連したる問題がその最たるものであつた、卽ち、萬寶山における支那官民の鮮農壓迫事件の餘波は鮮內に及び鮮支人衝突の不祥事を惹起し、次いで奉天の一角における支那軍隊の計畫的滿鐵線破壞に端を發し、滿洲事變の勃發を見、わが朝鮮軍においても情況上第二十師團の一部を出動せしむるに至り今尙戰爭中であることは諸君周知の事柄である、抑々今回わが皇軍の出動たるや誠に多年の懸案、換言すれば支那官憲の不誠意に基き犯されつゝある我既得權益の擁護と、滿蒙在住百萬の同胞の保護に基くもので、實に正義人道の發露に外ならないのである、從つて我國としては日支善隣の誼を重んじ、今次の不祥事をして國交斷絕に至らしめず、以て滿蒙における禍根を將來に絕つべき建設的方策を講じ、之に依りて日支兩國現下の難局を打開し、禍を轉じて福となし、東洋永遠の平和を招來せしめたく努力して居るのである

而して滿洲に出動せしわが皇軍は絕大なる勞苦と酷寒とを物ともせず、或は長春、吉林に將又遠く昂々溪、チチハルに轉戰して武威を發揚し暴戾なる支那軍を膺懲し滿洲各地に出沒する馬匪賊を掃蕩し次逐出動本來の目的を達成しつゝあるは、齊しく感激已まざるものである

翻つて事變勃發以來わが國民の狀況を見るに、內鮮融和擧國一致の實を擧げこの一大國難を打開せんと奮鬪しつゝあるは、誠に慶賀に堪へない、今や滿洲は酷寒にして而も馬匪賊の橫行、別働隊の跳梁は益々甚だしく本事變の完全なる解決迄にはなほ幾多の紆餘曲折を辿り極めて長時日を要する事と思ふ、之がため益々擧國一致の團結を以て進まねばならぬ、然らざるにおいては折角今日迄の努力も水泡に歸するであらう

聊か所懷を述べて年頭の辭とする

在滿民心の更生

關東廳內務局長　三浦碌郎

年頭感といふものは來る年々に依つて多少の差異こそあれ大體は甚だ月並的なものである、しかし今年こそはほんとうの新年を迎へた氣持が誰の頭にも充ち〳〵て新しい希望と發奮に輝いてゐることこそであらう、今次の滿洲事變は未だ砲煙彈雨の間にあるが時局は早くものどこかに潑剌たる更生の新芽を宿して全く天地更新の感が深い、さてこの意義ある新年を迎へて、さて我々は何を考へ何を爲すべきであるか、滿洲の治安を亂しわが權益を蹂躪せんとする暴戾なる匪賊の膺懲に對しては軍部に於て宜しく擔當してくれてゐるのである、匪賊潰滅後の滿蒙は必ずや今後更に面目を一新するであらう、天地は變つた、舞臺は廻つた、こゝに於て我々の最も必要とするところは此の新天地に於て活動する在滿官民の心の更正といふことである、舞臺は出來上つてもそこで演ずる人の所作氣分がそれにそぐはなくては決して優秀なる成果は揚げられぬ、日本は過去二十數年の間營々孜々滿蒙の開發に當つて來たが最近までのその成果は決して滿足とは言へぬ、否寧ろ行きづまつた感じがあつたのは甚だ遺憾であつた、卽ち我々は天地更新の新年を迎ふに當り過去を顧みこの點深く反省して、今後の滿蒙建設に對しては政治家も敎育家も實業家もその各の立場々々から大いに自省發奮して苟くも過去を再び繰返さぬやう新生命を發揮し、ほんとの意味における新芽をふかせ滿蒙新天地の完成を期せねばならぬ、こゝに於て初めて今年の新年の意義があるのである

沿線各地の元旦

奉天　一月一日時局の中心地たる奉天では注連繩、門松等も極質素に多難の昭和六年を送り更に意義深い昭和第七年の新春を迎へた午前十時から各官廳學校等では四方拜の式が擧行され正午から奉天高女校に於て例年に見ない盛大な互禮會が催された又奉天神社は早朝より參拜者引も切らず各戸には日章旗を掲げ祝意を表した【奉天電話】

遼陽　氣溫零下十二度、天氣晴朗、ろ小春日和の如く在住民は事變の最中であるだけ極めて緊張裡に皇室の御繁榮と皇國の萬歲を祝福し午前九時には警察署、郵便局を始め拜賀の式を行ひ九時廿分から十時まで領事館では御眞影の拜賀式小學校では九時四十分國旗掲揚式十時から拜賀式、遼陽神社では午後一時から四方拜祭を執行正午公會堂において官民合同の互禮會が行はれた【遼陽電話】

安東　安奉沿線事件頻發と時局の爲め廻禮者の影も少くたゞ國旗と注連繩のみが新年が來た事を表してゐるのみで極東に緊張した新年であつた【安東電話】

鐵嶺　元旦は恰も春の如き暖かさに惠まれ午前十時からの神社祭典十時半からの小學校拜賀式、領事館の拜賀式等も參列者は外套の必要なき程で各所とも希望に滿ちた昭和七年の元旦を壽ぐ市民多數參列し正午からの公會堂新年互禮會には支那側からも多數の代表者列席紀藤議會議頭は日清戰爭當時の三國干涉と今事變に處せる我國の態度を比較して國民精神を鼓舞し眞の擧國一致は寧ろ今後にありと所感を述べて閉會後石塚領事は孫文の大アジア主義を說いて日支提携を高唱し支那側自治委員會長王者貴氏の祝辭木下軍醫正の天皇陛下萬歲、石之□氏の大日本帝國萬歲、前田地方事務所長の鐵嶺縣自治會萬歲三唱あり會衆一同これに和して誠に朗かな黎明の希望燃ゆる新年を迎へた【鐵嶺電話】

鳳凰城　元旦午前十時より小學校々庭に於て軍隊、小學校、在住官民合同、定刻一同東面して整列（軍隊は中隊縱隊に整列）し上杉隊長統裁のもとに遙拜式を擧行し引續き軍隊の分列式が擧行された、當日支那側からは自治執行委員會委員其他主なる官民多數の參列者があつた【鳳凰城電話】

玄關先に謎の爆彈

沙市邦人宅で

【シヤトル一日發】當地住友銀行支配人小野義人氏宅玄關に何者が置いたかスートケース一個あつたので中を調べたところ爆彈が發見されたので大いに驚き警察に屆出た、犯人及び犯行の原因は全く不明で謎の事件としてセンセーションを起してゐる

快樂で初捕物

市內逢坂町貸座敷快樂へ舊臘十七日以來每夜の如く登樓し藝妓壽美江事兒玉千代子（二〇）を揚て此不景氣に大盡風を吹かせ豪遊してゐる不審の男を大連署黑岩刑事が突止め元旦快樂に臨檢朝から酒盛中を取押へ本署に引致留置した右は青島聊城路八八番地骨董商西脇喜一の實弟秀吉（三□）といひ舊臘十六日兄の金四千五百圓を拐帶來連し今日までに約一千圓快樂で散財してゐた、拐帶金のうち一千圓は青島の料亭觀月の抱藝妓照太郎を身受けすべく供託してあり現在千八百圓所持してゐた

なほ快樂の仲居おきみこと堤キミ（五□）及び藝妓壽美江の兩名は再三大連署刑事が訪れ秀吉の寫眞まで見せて在否を確めたるも今日まで、そんな客は登樓せぬと隱匿してゐた事實があるので近く告發される筈である

大分縣人會

大連大分縣人會では同縣出身の大先輩南陸軍大將の來連を機とし、三日午後八時半から星ヶ浦の星の家で同大將の歡迎會を催すことゝなつたが、縣人諸氏の出席を熱望すると、會費一人一圓當日持參

安樂椅子

寬城子、南嶺の戰鬪で右手に名譽の貫通銃創を受けた勇士が傷癒えて再び出陣するに當り「決死の身に金は要りませんから……」とて貧しい實家に入營以來俸給の中から蓄積した金百圓を送つたといふ美しい話

…◇…

宮城縣桃生郡大谷地村出身の一等兵今野啓治郎君（二□）は步兵第○聯隊に屬し最近まで鐵嶺の衛戍病院で加療中であつた右手の傷が全快したので再び戰鬪に參加することゝなつたが出陣に先だち鄕里の實兄にあて次の如き手紙を寄せた

…◇…

思ひがけぬ命びろひをして再び戰爭に參加することになりました、一旦死を決した私は再度の出陣に金錢なぞは一文も必要でありませんから貯めておいたこの百圓を有用に使つて下さい

さて昨年入營以來營々確な給與金の一部を蓄積して得た百圓を送附したが、同君の家庭は農家で實兄夫妻と實母、年老た祖母や弟妹が多く、さぞや生活も苦しいだらうといふやさしい孝心から貯金してゐたもので、模範靑年として入營前から鄕里の人達に評判のよかつた同君は今回の行爲によつて一層鄕黨を感激させてゐる

賀正

奉天

(順序不同)

宇佐美寛爾
林榮
稻葉逸好
庵谷忱
駒井德三
金井章次
野口多内
石田武亥
岐部與平
野田九郎
向坊盛一郎
色部貢
中西敏憲
中原操
石川精一
河村賴
吉川康
遠藤眞一
椎名義雄
原口純允

深川菊太郎
原口統太郎
藤田九一郎
立川俊三郎
大野篤雄
管原憲亮
森公平
花井脩治
綿織足喜代
釋河野龍丸
平山萃
金丸富八郎
入江英一郎
先川喜代次
四方辰治
野添孝生
萩原昌彦
杉本昌五郎
香取眞策
佐藤菊次郎

滿洲醫科大學僚友會
南滿洲電氣株式會社奉天支店
南滿洲瓦斯株式會社奉天支店
奉天省政府主席 臧式毅
自治指導部長 于冲漢
奉天市政公署長 最高法院長 趙欣博
東三省交通委員會長 瀋海鐵路保安委員會長 丁鑑修
滿蒙毛織株式會社
滿洲市場株式會社
合名會社 大倉組奉天出張所

石本力藏
田實久次郎
高橋豊彦
社團法人 全滿米穀同業組合
奉天取引信託株式會社
財政廳長 趙鵬第
張成箕
孫祖昌
齊恩銘
李玉書
東三省官銀號總辦 吳有太
東亞勸業公司
奉天信託株式會社
都甲文雄
小杉與治郎
久保田伊平
宗像成一郎

滿洲土木建築協會奉天支部員一同
河合鋼洋行
奉天窯業株式會社
滿洲土地建物株式會社

奉天各學校長團
奥山賢 名和長正 安藤基平 八木壽治 生田美記 坪川與吉 星野彦松 前田彦祐 平井衛 石原哲三 富谷兵次郎 家入佐三 衛藤利夫 明日勝

奉天金曜會

奉天地方委員
吉川康 中村政市 山本謙幹 菊池秋四郎 鹽尻彌太郎 名和長正 萩原昌彦 三谷末次郎 石田武亥 庵谷忱 岩崎時夫

奉天醫師會
回生病院 山本醫院 大橋醫院 永井醫院 井上耳鼻咽喉科醫院 西田産科婦人科醫院 藤巻醫院 岩竹醫院 松岡醫院 長田醫院 白十字醫院 佐竹醫院 石川醫院

奉天大道 森洋行
三昌洋行
奉天 森林洋行
奉天春日町 近江洋行
奉天浪速通 藤永寫眞店 電二〇五二番
奉天浪速通三二 前田德商店
奉天加茂町五 大成商店
奉天春日町三 中谷時計店
奉天住吉町八 クラブ 銀鈴 電三三二三番
松竹經營 平安座 佐伯長太郎
高等演藝館 身上市太郎
奉天旅館組合
奉天三業組合有志
奉天附屬地料理店組合
千代田自動車商會 電五四一七番

謹賀新年
滿洲日報奉天支社員一同

滿洲日報販賣店
弘文堂
義道洋行
大每社
清野新聞店

滿洲日報

英米武官の阻止で我軍の錦州入城遲る

自らオブザーバーと稱して露骨な張學良援助

我軍の○○入城は某々國のいはれなき張學良援助により豫定より遲れる模樣であるが嘉村多門の各部隊はこれに關係なく○○を包圍狀態となしたまゝ前進み續くるものと看做されてゐる【奉天電話】

【溝幇子にて三十一日立上特派員發】三十一日午後三時ごろわが嘉村旅團は溝幇子驛に到着したが我軍の行手に○○方向より來た一個列車あり、しかもわが工兵隊の修理せる橋梁を突破して來れるもの、如く列車上には英、米の二武官ありオブザーバーと自稱し居るも何等の證據なし我軍はこれに對し例へ彼等のいふ如くオブザーバーとするもオブザーバーは所謂オブザーバーであつて視察すべきものにして匪賊討伐の正當なる自衞行爲を阻止すべきいはれなきを說諭せるが彼等言を左右にして肯んぜず嘉村旅團長以下これに對し極度に英米のこの露骨なる張學良援助の行爲に對し憤慨しをり、一部隊は彼等に介意するところなく、騎馬又は徒歩にて前進を續くることゝなつたが、英、米のこの遣り方は聯盟の眞精神に反する行爲で世界の問題たらんとしてゐる

錦州近く迫るわが軍

錦州附近における吾飛行隊の偵察報告左の如し

一、二日午後零時半錦州東方陋路西方橋梁附近にあつたわが先頭裝甲列車は午後二時四十五分錦州東方七粁の双陽站にあり

二、午後二時四十五分わが徒歩部隊の後尾（步兵第二大隊自動車二十臺）は大凌河站に進入してゐる、部隊は同地に集結中である

わが部隊續々溝幇子通過

姫路師團の特科隊及び室○○師團の一部は二日午後二時溝幇子を通過錦州方面に向け進發した、尙引つゞき室○○師團の主力は溝幇子通過同方面に向け進發した、先發部隊の錦州入城は三日未明の筈【營口電話】

支那正規兵の大掠奪

土民の言によれば打虎山及溝幇子の敵正規兵は退却に當り掠奪を擅にしその慘狀目もあてられず殊に溝幇子においては二日間掠奪を續けたるために我軍の入城に際し住民は日章旗を揭げて歡迎し避難民は我軍の警則により逐次歸來しつゝある【奉天電話】

支那軍全部錦州を撤退

【北平二日發】支那側消息によれば錦州軍は一日までに全部錦州を撤退し錦州の西南百二十粁の線中が最前線になつてゐると

錦州撤退の支那兵　山海關方面を退却中

軍司令部發表＝我が飛行隊の報告によれば錦州附近の敵兵は大部分既に退却を了へ錦州驛は概ね寂であ る午前十一時頃錦州には二個列車あり錦州南方女兒河には三個列車あり高橋において敵步兵五百わが飛行機に對し猛烈なる射擊を加へた、午前十時乃至十一時の間に大凌河站には日章旗の翻へるを見た【奉天電話】

二日午前八時卅分錦州方面敵狀視察に赴いた中村中尉鹽田少尉の偵察機が一時二十分歸來した情報によれば錦州以東は敵兵を認めず、何れも錦州より山海關方面に敵の主力部隊は退却中で錦州附近は敵兵餘り認めず同驛には約百輛の列車が不整頓のまゝ置き去れ、うち一機關車のみが煙を出してゐたゞ錦州兵營は非常に整頓されてゐると

友軍の多門第○師團先發部隊は裝甲列車にて大凌河左岸まで前進しており師團司令部は未だ溝幇子にあり、嘉村旅團の司令部も石山站にあり

各鐵橋爆破

にある、大凌河鐵橋は破壞されず安全であるがわが皇軍は支那兵が逃走の際家屋に放火し、武器は掠奪され車馬もなく食糧その他に困難してゐる模樣である【大石橋電話】

【北平二日發】錦州軍が撤退に當り日本軍の追擊を阻止するため各鐵橋を爆破してゐると

騎兵第三旅　熱河へ退却

關東軍司令部發表＝支那騎兵第三旅はかれて鄭通線およびその沿線に對しあらゆる暴虐を恣にしてゐたがわが猛擊に耐へかれて遂に熱河道を退却し一日夜は彰武西北方約卅キロの哈爾套街を通過す、然し熱河省內には彼等に敵意を有す

滿洲日報開歲頌詞

黃羊送臘　彩燕迎春　欣維大報
駿發連濱　風行有象　霞蔚無垠
日昇嵎谷　光耀寅賓　崇論宏議
正笏垂紳　我言不佞　萬載如新

熙洽

國際軍縮會議展望

國際政情動搖せる雰圍氣に（上）成果を一層重大視

一、煙硝臭き軍縮

滿鐵爆破を導火線として惹き起された今回の日支衝突を中心として、東亞の空氣は異常な險惡化を來し、之を取り卷く英、米、佛、伊諸國の間にもたゞならぬ遽しい緊張を醸し、爲めに流行の國際聯盟理事會も幾度か暗礁に乘り上げざるを得なかつた。最も平和なるべき軍備縮小會議が國際情勢の最も動搖險惡化せる雰圍氣の裡に開催されればならぬといふ事は非常な不幸である。

現在の國際情勢の不安動搖は、其根、甚だ深く且つ遠いものであるが、最近一、二年間における狀勢を回顧しても、眞に第二の世界大戰の發生を不可避たらしむが如き數々の要因が續出してゐた。一九二九年九月突如としてニューヨークウォール・ストリートを襲つた株式恐慌は「萬年景氣」を世界に誇つたアメリカをして一朝破滅に突き落し續いて英、獨、佛、伊の歐洲諸國を始め日本、支那、印度の東洋諸國をも一齊に深刻なる經濟恐慌の嵐に席捲し去つた、各國は之が切り拔け策として或は關稅同盟に指標さる、が如き關稅障壁に依る自國產業の補強策、國產獎勵に依る愛國主義の動員等々の消極手段から、進んで資本、商品輸出に依る海外植民地の再分割企圖の如き、積極手段を大々無統制に採用し、勢ひの赴く處之が衝突激發は免れ難き情勢を展開してゐたのである。

而も一九三〇年に至つては、合理化景氣で一時小康を見せてゐたドイツ經濟は急性信用恐慌開始の爲め國內資本の海外逃避、銀行の破產倒壞を惹起せしめ、之が緊急對應策として行はれたアメリカ大統領の對獨賠償債務の一時延期案も英、獨の政治的聯合に從來から快よからざりしフランスの速かなる支持を得なかつた爲め、遂にドイツ經濟を破局的ならしめ、延いて之がイギリスに飛火して過去幾世紀間に亘り世界金融の覇を稱へてゐたイギリスをして金本位制を再び放棄せしむるの止む無きに至つた。斯くて佛對英、伊對獨、獨對佛の關係は一層尖銳化し更に支那情勢の上に何となく煙硝臭き暗雲の去來する事、昨今の如く甚だしきはない。

斯かる狀勢の下に昭和七年二月二日より國際聯盟の劃期的なる一般軍縮會議は瑞西の首都ジュネーブに開かれる。今回の軍縮會議の成否に就いては國際對立關係の險惡化してゐる事から、非常に悲觀的な觀測を下す者が多いが、然し逆に世界狀勢の險惡化、尖銳化斯の如くなればこそ各國の軍備を先づ出來るだけ制限乃至縮小し以て國民負擔を輕減し、產業の建て直しを策すると共に、各國の對立關係を緩和し、恐るべき第二次世界大戰發生の禍根を一掃する必要があるともいひ得るのである。現在觀るが如き世界の狀勢の下に開かるゝ今回の軍縮會議の前途は實に

二、軍縮會議の內容

今回の軍縮會議は國際聯盟規約第八條の趣旨、卽ち軍備縮小を實現するため聯盟成立以來不斷の努力を傾倒し來つたものであるが、其途中で幾多の迂餘曲折にも拘らず、一九二六年五月以來の軍縮準備委員會開催以來一九三〇年十二月最終の第六回會議を閉づる迄五ケ年を費して實行すべき條件、方式を以て成る六十ケ條より成る軍縮條約案を作り上げた、此處において事務總長は昭和六年六月に至り聯盟國五十四ケ國、非聯盟國九ケ國、總計實に六十三ケ國政府に對し軍縮會議への招請狀を出し、大體其參加の回答を得た結果、愈々ジュネーブに

北平の不安　暴動の恐れ

北平よりの來電によれば上海共產黨本部より指導員來平し多額の運動費を撒布し錦州軍の敗兵を買收して紅軍を組織し土匪工人を使嗾して北平唐山および天津にてテロリズムを行はんとする情報を入手した北平衞戍司令于學忠は大いに狼狽し卅一日各大學長を集め學生の妄動を戒めてゐる、然し學生は學良を怨むこと實に骨髓に徹するものあるので學良派は暴動の突發をおそれ極度に神經をとがらせてゐる【奉天電話】

戰略を變更　學良、對策

【北平一日發】張學良は卅一日夜最高軍事會議を開き戰略を根本的に變更し灤河の線に後退するに決定した、但し對內關係上中央の命に從ひ飽くまで錦州を死守すると稱し旣に中央に對し實力援助を乞ふたが返電がないので總攻擊を目前に救ふため八百萬元と武器彈藥を急送せよと電請した

出動部隊に從軍して盤山から溝幇子迄

雪と氷の中を進む我軍の辛勞

溝幇子にて卅一日　藤井特派員發

卅日十家臺に宿したわが部隊は三十日午前九時四十分師團命令により二手に別れて前進した、前日まで先頭部隊となつて盤山の戰鬪に働いた十六聯隊は卅一日は後方に退き卅聯隊第二大隊を先頭に前進した一方二十九聯隊は

東側の路を通り東大板橋を經て溝幇子入りをする豫定で記者は卅聯隊の尖兵の前に進み溝幇子近しの聲に連日の强行軍の疲れを忘れて意氣衝天前進した、南北子に到れば部落民は日の丸の國旗に日軍歡迎と書いて我軍を迎へる斥候騎兵部隊の報によれば溝幇子附近は東北軍第十九旅の約三千の敵兵がゐたが卅日午後十時頃全部逃走して了つた東方の路を進んだ廿九聯隊の先頭には騎兵第二聯隊が偵察のため先行したが旣に

敵兵

逃亡の後なるため第○騎兵聯隊は卅一日午後零時三十分早くも溝幇子の一番乘り、續いて二十分遲れて奉天より嘉村少將の率ゆる第○旅團、引續いて○師團の卅一同じく溝幇子入城、斯くて…

到着

したが旣に兵なく一發の彈丸を交ゆる

總て廢墟の溝幇子

溝幇子にて卅一日　島田特派員發

スルメと日本酒でさゝやかな新年宴

溝幇子に入つた多門師團

溝幇子にて一日　藤井特派員發

元旦午前十一時に溝幇子に入つたわが第○師團は午後三時から師團司令部にあてられた商務會においてて多門師團長以下所屬部隊の中隊長以上及び從軍新聞通信記者を招待し燒スルメに日本酒のさゝやかな新年宴會が催された、

料理

も凍つたものを溫めて料理するのに大騷ぎである、だ が滿石に正月氣分は臨時師團司令部に横溢して定刻一同將星男士集つて新年を迎へた、多門師團長は吾々今日の行動は帝國の自衞權の發動であつて何處までも正義に基く行爲であると挨拶を述べ最初豫定の如く元旦に溝幇子に入城することを得た幸運を祝ひ一同盃を擧げて

東方

に向つて多門師團長の發聲にて「大日本帝國萬歲」を三唱した、かくて一同盃を交してお互に途中皇軍の勞苦など手柄話に新年の壽を祝つたが第○○旅團長天野少將は嬉しさの餘り多門師團長に謝辭を述べわが軍最初の足跡を印した溝幇子において野天のもと樂しい新年宴會は盛會を極めた

支那軍の無抵抗は噓　大規模の計畫的軍備

僞瞞的行爲暴露さる

【溝幇子にて一日藤井特派員發】廿九日我軍は盤山にて逃げ遲れた敵が部落民家に潛んでゐたもの捕虜としたが取調べた所によれば孫德荃旅長の部下で十九旅六百五十四團に屬する迫擊砲彈藥手で次は六百五十四團に屬する上等兵と判明したがこの十九旅の如きは支那側が國際聯盟に對して錦州を撤退したと言明したのであるがこれは明かに支那側の僞瞞的行爲であつて、當日盤山で抵抗せる正規兵は約千名とみなされてゐる、殊に鐵道東側高地には約五百メートルに亘り立派な塹壕を掘つてあり錦州軍の我々に對する計畫的軍備を如實に示してゐる、

抵抗の甚だしかつた鐵道東側…

本格的な塹壕

打虎山にて三十日　西村特派員發

三十日據點六十餘臺の自動車隊を

急造

された日の丸の旗が而も町の要所々々には殆ど戶を閉ぢて表へ出てゐない、ものは一人も姿を見せず良民すら匪賊または錦州軍の兵と思はれて市街の巡視を行つたが市街には溝幇子に入つた若松工兵大隊と協力して入つた石橋中隊は營口線より入つた

老僧

黑煙

帳簿

雪片

匪賊

今井田政務總監

社説

軍事行動の一段落
皇軍錦州入城　以後建設舞臺

匪賊討伐の皇軍は、三十一日賊匪を逐ひて既に溝帮子に入つた。更に元旦には、飛行機によりて錦州方面の賊狀を偵察すると同時に、軍の行動を起した。二日には大部分が錦州に入り、三日には我軍の手によりて錦州全部の治安を維持するに至るであらう。曾つて錦州に、舊政權の遼寧省政府が建設されてより其正規兵の駐屯せるは云ふまでもないが、此れを中心として滿蒙治安の破壊を計畫した。其の爲めに滿蒙各地の匪賊、及び匪賊化せる正規兵を買收し、又は招撫し、彼此聯絡を執つて日本軍隊の背側を窺ひ、且つ日本國民の生命財産に脅威を與へた。日本軍は始めより自衛の爲めに滿洲の安寧秩序の維持に當つたのだが、各地匪賊が、錦州正規兵と協力呼應して我軍の目的を阻止するに於ては、徹底的に彼等を剿滅せねばならぬ狀態になつた。

◇

錦州舊政權は、匪賊に因る滿洲擾亂策が功を奏せざるを見て錦州退却の計を立て、三十日三十一日に渉つて其大部分が退却を終つた。日本軍は固より正規軍と戰爭するを目的と爲すものでないから、其退却後に入城し……

……の爭注を誘導せねばならぬ。匪賊の討伐でも從來とは自ら其心持を異にし、單に掃蕩するのでなく、彼等も亦三千萬民衆の中である事を思ひて、之れを愛撫して、彼等が良民の中に溶け込む樣に導かればならぬ。勿論此等の任務は全然新政權の責任に屬するものである。併し新政權と日本國民とは既に離る可らざる關係を生じた。新政權が萬一失敗すれば、日本の權益は全部を擧げて潰滅する。日本は自ら生きる爲めに、新政權の成功に援……

政界名士の政局觀

內外殊の外多事多難の際、對外的には大いに帝國の威信を發揚し、對內的には絕對的國民の信望を繫ぎ以て「所謂鼓腹謳歌して鳥さまらず」の泰平を謳歌せしめねばならぬ筈であるが、事實は果して何うであらう、國民は犬養內閣を中心として現下の政局を何と見るか。之を政界諸名士の眞實なる叫びに聽け。

金輪再禁は救世的善處策
研究會子爵　前田利定

犬養內閣の出現により瀕死の狀態にあつた我經濟界が兎も角一先づ息をついだ事は爭へぬ事實である。これから後の財界建直しや、事茲に至つた原因等について議論を闘はせるさすれば、幾らもいふことはあらうけれど、この際犬養內閣の手によつて金の輸出再禁止を斷行した臨床手術に就いては何等議論の餘地はないものと思ふ。從つて金の輸出再禁止に關する緊急勅令案が議會に提出された場合、民政黨と雖も簡單に反對する事は出來まい。依つて色々といつては見るかも知れぬが、結局最早決行された後のことだから……

たつくであらうし、反對すれば又反對したで文句をいふものが出たりして、さう手安く片づけられないであらうが、どの途反對すれば解散するのはきまつて居り解散は誰も嫌ひだからこの國難に臨んでは舉國一致が必要だとでもいふてあらう。

正面から反對する樣な事を避けはすまいか。民政黨がぶつかつて來ぬ以上政府も好んで解散もしまいから結局無事で議會が終りはすまいか。然し見物のある事だから幾ら兩方で勝負をしたくなくてもつい見物に引掛られて、どつちからか突ッかゝらればならんとも限らぬ。皆が今一息ついてゐるところだから未だやいくいはぬのであらうが、休會明け間際になれば見物の方が又默つてはゐなくなるであらう。

議會は問題なし
公正會男爵　船越光之丞

民政黨內閣、就中井上前藏相の財政經濟政策は特に緊縮政策であつた。この政策の行詰りは前內閣と雖もよく熟知してゐながら、行が……

明日への新しき準備、覺悟が必要
大連民政署長　辛島知己

多事なりし年は去年と暮れて、茲に多望なる昭和七年の新春を迎へました。私は何よりも先づ大連民政署管內住民諸君と共に、皇居を遙拜致しまして吾皇室の御繁榮を壽ぎ奉る次第であります。思ふに多望は必ずしも無難を意味せず舊臘までの國家の歩み、個人の歩みを顧みる時はこの一年は又多事多難、幾多の荊棘がその前途に伏在する事を豫想しなければなりません、茲において我々は新春の來ると共に既往一年間の事蹟に鑑み、明日への新しき準備と覺悟とにそなへる事は誠に意義深いものがあると思ひます。

×

顧みれば、昭和六年はわが國にとり內外共に頗る多端の年でありました。經濟の方面におきましては、世界的不況の原因未だ除去されず、各國各々之が脫去に苦心を……

重れつゝありしに拘はらず、金の偏在、ドイツの經濟的緊急狀態に加ふるに、從來大金融資本國として世界金融の王座を占めてゐた英國の金本位制停止等經濟變化の影響を被り、わが國も亦金輸出再禁止の已むなき情勢に立ち至りました。申す迄もなく一國經濟の消長は、國民生活に至大の關係あるのみならず、實に一國將來の運命を卜するものでありまして、わが國內經濟の外延をなし、共に國民經濟に貢獻しつゝある在滿邦人は、世界經濟の動きを洞察しつゝ再禁止後の財界に處すべく今日より既に大なる自覺を約束されてゐるのと言ふ事が出來ます。

×

更に昨秋澎らずも惹起致しました滿洲事變につきましては、御承知の如く、わが國は未曾有の難局に立ち、事件は尚支那間の二面……

關係に止まらず、引いて國際的多面關係にまで進展し、時局は一層複雜化し困難の度を加へました。國際聯盟の一度本問題の處理に當るや、再轉三轉幾多の曲折を經てわが主張を認むるに至りましたが之もとより事件の全面的解決を齎したものではなく、眞の解決は今後の國民の努力に殘されてゐます私は今帝國の地位を、國際政局の立場と、極東全局の立場の兩面より眺めて在滿同胞の自覺を喚起したいと思ひます。

×

第一は國際聯盟に對する再吟味であります、言ふ迄もなく聯盟の理想は、國際協調をモットーとして、世界平和を實現し、世界經濟の發展と、人類の福祉增進とを企圖せんとするにありますが現實は必ずしも然らず、各國は共に經濟的充足を圖り、自國市場の獨占化に努め、高き關稅障壁を設けて極端なる貿易の保護をなし國際競爭は愈々尖銳化し爲めに國際平和が脅かされんとする實狀であります、かくの如き理想主義的國際政策と現實主義的國際政策の二つの……

が、聯盟を通じて相對立してゐる狀態であります、この相矛盾する世界の動靜を正確に認識すると共に、之に處すべき我が國民獨自の立場を確立すべく努力しなければなりません。

第二は滿洲に對する今後の國民的覺悟であります。由來滿洲に於けるわが特殊的地位は、種々なる相關々係より自然に生じたるのみならず、實に過去二大戰役を經て幾多の犧牲を拂つて贖ひ得たる償であります。爾來わが國は與へられたる正當な範圍內に於て、滿支の共存共榮をモットーに、滿洲に政治的、文化的施設をなすと共に經濟的にも大發展をなし、滿洲をして內外人の安住の地たらしめたことは、內外に誇るべき國民努力の賜物であります。然るにかゝる緊密關係に重大支障を來さしむる一方的不法行爲により滿洲の客觀狀勢に著るしい變化を齎しました。幸ひその後治安も次第維持され、滿洲の更生建設の氣運に向ひつゝある此の時、我々は過去の努力を基礎とし、日滿の特殊的事實關係に想ひを致し……

祖國前衛の任を果せ
大連民政署長　米內山震作

萬物竝育而不相害
道竝行而不相悖
秦豊助

不信任案で火蓋を切るか
同和會　倉知鐵吉

野黨反對すまい
政友會　牧野良三

犬養內閣を信頼せよ
政友會　植原悅二郎

議會を解散せよ
民政黨　中村啓次郎

三月以內に民政內閣
民政黨　八並武治

無產階級の勝利へ
全國勞農大衆黨　麻生久

市民を擧げて參加せよ
大連市民旗行列

在三日日本人時局後援會

驛の陸橋上に飜へる日章旗を仰いで入城
支那側郵便局は破壞され不通
溝帮子にて 立上特派員發

卅一日午後二時四十分今村旅團麾下の石松大尉指揮の先發隊に從つて溝帮子に入れば敵兵の放火により餘燼なほ消えやまぬ停車場には二十分前營口線より來着の若松騎兵大隊騎陸橋上に日章旗をたて一番乘りを誇つて我等をまつ、かくて營口、北寧兩線先頭部隊二隊長の歴的會見あり記者（立上、結城）等は直にこゝまでの實情を急報すべく軍電信隊に從ひ約六町を隔てた支那側郵便局に到れば開く門を閉ぢて人影なし、やむなく門を壞して内部に入れば電信機は勿論機械器具何一つなき空家にしてなほ電信電話の線は全部切斷されて居り手のつけやうがない、そこでやむなく引返し糧食もがなと探し求めしが全市いづれも戸をさざし諸所に急造の日章旗を揭げ歡迎と危難除けのしるしとしてゐるを見るのみ

盤山攻擊奮戰記
敵の正確な砲擊に應戰し名譽の負傷
大窪戰を物語る成瀬砲兵大尉
營口にて 森特派員發

大窪の戰鬪に左右兩足に敵彈を受け名譽の負傷をした成瀬砲兵大尉は盤山の戰ひに左の足に貫通銃創を受けた上原騎兵軍曹以下十二名の負傷兵と共に三十日午前十時盤山發午後三時河北より奉天丸にて營口埠頭に上陸直に旅館滿林館内に設置された臨時野戰病院に收容された訪れた記者を快よく出迎へなあに、僕の傷は大したことはない、錦州攻擊には是非とも復讐戰に出かけるんだ、衞戍病院への後送は御免だ

悲壯にも元氣一杯で記者の問ひに對し當時の激戰を想起し感慨深げに語る

敵は裝甲列車三輛を連結して大窪の前方に進擊して來たのでわが軍の裝甲列車及び野砲隊はこれに應戰した、敵の射擊は存外猛烈で而も正確を極めかなりの近距離に落下し隨分苦戰でした、前回のチチハル方面の戰鬪に比較すると餘程優秀な砲兵で着彈觀測を怠らず**一發毎に着彈距離を修正して發射するなど敵ながら却々天晴れ**なもので感心させられました、僕の部隊は執拗な敵の猛射に業を煮やして遂に敵の右側より後方に旋回し茲に展開して砲彈の洗禮を側面より浴びせたのでこれがため敵は支へきれず遂に退却を開始しました、わが軍は機をのがさず盛に猛射を浴せましたがその際丁度僕の前方に炸裂した敵砲彈破片に左下肢をやられまた右足も同時に一寸やられました、負傷は大したことはありませんよ

壯烈な騎兵の活躍
二十騎で盤山驛進擊

上原騎兵軍曹は盤山攻略戰に就いてその壯烈な騎兵の活躍を左の如く語つた

騎兵隊が一番惱まされたのは何んといつても敵の裝甲列車でわが騎兵隊は裝甲列車備付けの大砲の猛射を浴びて隨分その前進を阻まれました、これでならぬと**我々二十騎ばかりは盤山驛を一擧に襲擊すべく敵の左の方を迂回した、その時丁度わが野砲隊が到着し後方から**掩**護射擊をしてくれました、飛行機も爆音高く地上援護を始め**たのでやつと敵は退却を始めたのです**われく騎兵別働隊が盤山驛に到着した頃には敵の裝甲列車は北方に逃走した後**でした、僕が負傷したのは敵に到着する少し前双臺子河岸に塹壕を築いてゐた敵の射擊に遭ひ小銃彈に左足貫通銃創を負つたのですが大したことはありません、占據した盤山驛には敵の小銃彈、手榴彈、砲彈及び軍需品が山のやうに積み上げられてその莫大な量には一寸どぎもを拔かれましたよ、敵の騎兵はチチハル方面の戰鬪における馬占山軍の騎兵の優秀果敢に比較して全然問題ではありません、騎兵が大窪に侵入した際多門第○師團司令部の宿舍をさるため敵が占領してゐた民家を占據したところ「日本軍は遼河上に輕便鐵道を敷設し續々として侵入し來りつゝあり、**わが軍（支那兵）には生命を賭して戰はんとする士氣なし、優秀なる軍隊を至急增援派遣されんことを求む**張大將軍」と記した書翰の下書きを發見しましたこれは敵の指揮官が張學良に宛て、增援部隊を要求したその手紙であると思ひますが支那軍の内情を暴露したもので頗る愉快に感じました

陣中の正月　安奉線兵匪討伐に活躍する我が勇士

新春の喜び　（新年懸賞寫眞努力作）　大連　萬玉榮次氏

鞍山の守備兵七名重輕傷
海城縣下の兵匪討伐

鞍山守備隊第○大隊は三十日未明鐵道西の匪賊討伐に出動し三十一日午後八時官民多數の出迎へを受け歸還したが同大隊は三十一日午前十時三十分海城縣第七區高沙坨子において大匪賊團と遭遇し砲彈を以てこれを擊退して進軍し午後一時三十分遼陽縣第八區唐馬寨においてまた大匪賊團に遭遇し盛んに猛射を浴せこれを擊退して午後八時歸隊したが右戰鬪において左の重輕傷者七名を出した

▲重傷者　歩兵上等兵齋藤順太郎　歩兵二等兵若原欣一、同難波正

▲輕傷者　歩兵中尉塚本萬太郎、歩兵軍曹清原忠光、歩兵上等兵齋藤勇、同小橋宇一【遼陽電話】

前小煙臺附近の匪賊と交戰擊退
味岡部隊が追擊中

前小煙臺附近の匪賊討伐に向つた大石橋獨立守備隊味岡部隊より午後一時四十分當地守備隊に出した鳩便の情報によると同中隊は午前八時四十分召二堡に達し匪賊は同地北方より西北方面並に東南方面に移動し各々四、五十騎宛の馬隊を目擊し同中隊はこれと交戰したが我軍には被害なく匪賊の損害詳細判明せざれども小銃一挺、馬匹一頭を遺棄して逃走、中隊は目下これを追擊中同午前九時十五分前小煙臺に向つた【大石橋電話】

前小煙臺到着

【鳩便第二報】午後三時五十分同中隊は正午前小煙臺に到着、劉公安局長と連絡し匪賊は同地一帶にゐる模樣であるから前小煙臺を劉公安局長に守ることを命令して午後二時同地出發歸隊の途についた【大石橋電話】

安東對岸に匪賊現る
軍資金を調達

二日午前一時三十分頃安東對岸朝鮮義州郡威下面居住の金重方に支那式長衣を着し各自長銃を所持せる十餘名の匪賊侵入し軍資金を調達すと稱し金子の提供を迫り金子若干及び毛布トランクその他目星き家財道具を強奪し支那側の九連城方面に逃走した急報により新義州守備隊警察から直に出動目下搜査中なるが、九連城に多數潜入せる便衣隊の仕業にあらずやと見られてゐる【安東電話】

沿線各地の元旦

奉天　一月一日時局の中心地たる奉天では注連繩、門松等も極質素に多難の昭和六年を送り更に意義深い昭和第七年の新春を迎へた午前十時から各官廳學校等では四方拜の式が擧行され正午から奉天高女校に於て例年に見ない盛大な互禮會が催された又奉天神社は早朝より參拜者引も切らず各戸には日章旗を揭げ祝意を表した【奉天電話】

遼陽　氣溫零下十二度、天氣晴朗ろ小春日和の如く在住民は事變の最中であるだけ極めて緊張裡に皇室の御繁榮と皇國の萬歳を祝福し午前九時には警察署、郵便局を始め拜賀の式を行ひ九時廿分から十時まで領事館では御眞影の拜賀式小學校では九時四十分國旗揭揚式十時から拜賀式、遼陽神社では午後一時から四方拜祭を執行正午公會堂において官民合同の互禮會が行はれた【遼陽電話】

安東　安奉沿線事件頻發と時局のため廻禮者の影も少くたゞ國旗と注連繩のみが新年が來た事を表してゐるのみで極東に緊張した新年であつた【安東電話】

鐵嶺　元旦は恰も春の如き暖かさに惠まれ午前十時からの神社祭典十時半からの小學校拜賀式、領事館の拜賀式等も參列者は外套の必要なき程で各所とも希望に滿ちた昭和七年の元旦を壽ぐ市民多數參列し正午からの公會堂新年互禮會には支那側からも多數の代表者列席紀藤商議會頭は日清戰爭當時の三國干渉と今事變に處せる我國の態度を比較して國民精神を鼓舞し眞の擧國一致は寧ろ今後にありと所感を述べて閉會辭とし石塚領事は孫文の大アジア主義を説いて日支提携を高唱し支那側自治委員會長王者貴氏の祝辭木下軍醫正の天皇陛下萬歳、石之原氏の大日本帝國萬歳、前田地方事務所長の鐵嶺縣自治會萬歳三唱あり會衆一同これに和して誠に朗かな黎明の希望燃ゆる新年を迎へた【鐵嶺電話】

鳳凰城　元旦午前十時より小學校々庭に於て軍隊、小學校、在住官民合同、定刻一同東面して整列（軍隊は中隊縱隊に整列）し上杉隊長統裁のもとに遙拜式を擧行し引續き軍隊の分列式が擧行された、當日支那側からは自治執行委員會委員其他主なる官民多數の參列者があつた【鳳凰城電話】

内鮮融和して難局を打開
朝鮮軍司令官陸軍中將　林銑十郎

茲に昭和七年の新春を迎ふることは誠に御同慶の至りである、さて回顧すれば昨年は極めて多忙且つ重大なる各種事件發生の歳で就中滿蒙に關連したる問題がその最たるものであつた

卽ち、萬寶山における支那官民の鮮農壓迫事件の餘波は鮮内に及び鮮支人衝突の不祥事を惹起し、次いで奉天の一角における支那軍隊の計畫的滿鐵線破壞に端を發し、滿洲事變の勃發を見、わが朝鮮軍においても情況上第二十師團の一部を出動せしむるに至り今尚ほ事中であることは諸君周知の事柄である、抑々今回わが皇軍の出動たるや誠に多年の驕慢、換言すれば支那官憲の不誠意に基き犯されつゝある我既得權益の擁護と、滿蒙在住百萬の同胞の保護に基くもので、實に正義人道の發露に外ならないのである、從つて我國として日支善隣の誼を重んじ、今次の不祥事をして國交斷絶に至らしめず、以て滿蒙における禍根を將來に絶つべき建設的方策を講じ、之に依りて日支兩國現下の難局を打開し、禍を轉じて福となし、東洋永遠の平和を招來せしめたく努力して居るのである

而して滿洲に出動せしわが皇軍は絶大なる勞苦と酷寒とを物ともせず、或は長春、吉林に將又遠く昂々溪、チチハルに轉戰して武威を發揚し暴戻なる支那軍を膺懲し滿洲各地に出沒する馬匪賊を掃蕩し次遂出動本來の目的を達成しつゝあるは、齊しく感激已まざるものである

顧つて事變勃發以來わが國民の狀況を見るに、内鮮融和擧國一致の實を擧げこの一大國難を打開せんと奮闘しつゝあるは、誠に慶賀に堪へない、今や滿洲は酷寒にして而も馬匪賊の横行、別働隊の跳梁は益々甚だしく本事變の完全なる解決迄にはなほ幾多の紆餘曲折を辿り極めて長時日を要する事と思ふ、之がため益々擧國一致の團結を以て進まねばならぬ、然らざるにおいては折角今日迄の努力も水泡に歸するであらう、聊か所懷を述べて年頭の辭とする

在滿民心の更生
關東廳内務局長　三浦碌郎

年頭感といふものは來る年々に依つて多少の差異こそあれ大體は甚だ月並的なものである、しかし今年こそはほんとうの新年を迎へた氣持が誰の頭にも充ち〳〵て新しい希望と發奮に輝いてゐることであらう、今次の滿洲事變は未だ砲煙彈雨の間にあるが時局は早晩のどこかに潑剌たる更生の新芽を宿して全く天地更新の感が深い、この意義ある新年を迎へて、さて我々は何を考へ何を爲すべきであるか、滿洲の治安を亂しわが權益を蹂躙せんとする暴戻なる匪賊の膺懲に對しては軍部に於て宜しく撲滅してくれてゐるのである、匪賊掃滅後の滿蒙は必ずや今後更に面目を一新するであらう、天地は變つた、舞臺は廻つた、こゝに於て我々の最も必要とするところは此の新天地に於て活動する在滿官民の心の更正といふことである、舞臺は出來上つてもそこで演ずる人の所作氣分がそれにそぐはなくては決して優秀なる成果は揚げられぬ、日本は過去二十數年の間營々孜々滿蒙の開發に當つて來たが最近までのその成果は決して滿足とは言へぬ、否寧ろ行きづまつた感じがあつたのは甚だ遺憾であつた、卽ち我々は天地更新の新年を迎ふに當り過去を顧みこの點深く反省して、今後の滿蒙建設に對しては政治家も教育家も實業家もその各の立場々々から大いに自省發奮して苟くも過去を再び繰返さぬやう新生命を發揮し、ほんとの意味における新芽をふかせ滿蒙新天地の完成を期せねばならぬ、こゝに於て初めて今年の新年の意義があるのである

玄關先に謎の爆彈
沙市邦人宅で

【シヤトル一日發】當地住友銀行支配人小野義人氏宅玄關に何者が置いたかスートケース一個あつたので中を調べたところ爆彈が發見されたので大いに驚き警察に屆出た、犯人及び犯行の原因は全く不明で謎の事件としてセンセーションを起してゐる

快樂で初捕物

市内逢坂町貸座敷快樂へ舊臘十七日以來毎夜の如く登樓し藝妓壽美江事兒玉千代子（二〇）を揚て此不景氣に大盡風を吹かせ豪遊してゐる不審の男を大連署黑岩刑事が突止め元日快樂に臨檢朝から酒盛中を取押へ本署に引致留置した

右は青島聊城路八八番地骨董商西脇喜一の實弟秀吉（三四）といひ舊臘十六日兄の金四千五百圓を拐帶來連し今日までに約一千圓快樂で散財してゐた、拐帶金のうち一千圓は青島の料亭觀月の抱藝妓照太郎が身受けすべく供託してあり現在千八百圓所持してゐた

なほ快樂の仲居おきみこと堤キミ（二四）及び藝妓壽美江の兩名は再三大連署刑事が訪れ秀吉の寫眞まで見せて在否を確めたるも今日までそんな客は登樓せぬと隱匿してゐた事實があるので近く告發される筈である

大分縣人會

大連大分縣人會では同縣出身の大先輩南陸軍大將の來連を機とし、三日午後八時半から星ケ浦の星の家で同大將の歡迎會を催すことゝなつたが、縣人諸氏の出席を熱望すると、會費一人一圓當日持參

安樂椅子

寛城子、南嶺の戰鬪で右手に名譽の貫通銃創を受けた勇士が傷癒えて再び出陣するに當り「決死の身に金は要りませんから……」とて貧しい實家に入營以來俸給の中から蓄積した金百圓を送つたといふ美しい話

……◇……

宮城縣桃生郡大谷地村出身の一等兵今野啓治郎君（二二）は歩兵第○聯隊に屬し最近まで鐵嶺の衞戍病院で加療中であつた右手の傷が全快したので再び戰鬪に參加することゝなつたが出陣に先だち郷里の實兄にあて次の如き手紙を寄せた

……◇……

思ひがけぬ命びろひをして再び戰爭に參加することになりました、一旦死を決した私は再度の出陣に金錢などは一文も必要でありませんから貯めておいたこの百圓を有用に使つて下さい

さて昨年入營以來零碎な給與金の一部を蓄積して得た百圓を送附したが、同君の家庭は農家で實兄夫妻と實母、年老た祖母や弟妹が多く、さぞや生活も苦しいだらうといふやさしい孝心から貯金してゐたもので、模範青年として入營前から郷里の人達に評判のよかつた同君は今回の行爲によつて一層郷黨を感激させてゐると

賀正

奉天

（順序不同）

宇佐美完爾　林榮　稻葉逸好　庵谷忱　駒井德三　金井章次　野口多内　石田武亥　岐部與平　野田九郎　向坊盛一郎　色部貢　中西敏憲　中原操　石川精一　河村頼　吉川康　遠藤眞一　椎名義雄　原口純允

深川菊太郎　原口統太郎　藤田九一郎　立川俊三郎　大野篤雄　管原憲亮　森公平　花井脩治　綿織足喜代　釋河野龍丸　平山萃　金丸富八郎　入江英一郎　先川喜代次　四方辰治　野添孝生　荻原昌彦　杉本昌五郎　香取眞策　佐藤菊次郎

滿洲醫科大學僚友會

南滿洲電氣株式會社奉天支店

南滿洲瓦斯株式會社奉天支店

奉天省政府主席　臧式毅

自治指導部長　于冲漢

奉天市政公署長　最高法院長　趙欣博

東三省交通委員會長　瀋海鐵路保安委員會長　丁鑑修

滿蒙毛織株式會社

滿洲市場株式會社

合名會社　大倉組奉天出張所

石本力藏　田實久次郎　高橋豊彦

社團法人　全滿米穀同業組合

奉天取引信託株式會社

財政廳長　趙鵬第

張成箕　孫祖昌　齊恩銘　李玉書

東三省官銀號總辦　吳有太

東亞勸業公司

奉天信託株式會社

都甲文雄　小杉與治郎　久保田伊平　宗像成一郎

滿洲土木建築協會奉天支部員一同

河合鋼洋行

奉天窯業株式會社

滿洲土地建物株式會社

奉天各學校長團

奥山賢　名和長正　安藤基平　八木壽治　生田美記　坪川與吉　星野彦松　前田彦祐　平井衛　石原哲三　富谷兵次郎　家入佐三　衛藤利夫　明日勝

奉天金曜會

奉天地方委員

吉川康　中村政市　山本謙幹　菊池秋四郎　鹽尻彌太郎　名和長正　萩原昌彦　三谷末次郎　石田武亥　庵谷忱　岩崎時夫

奉天醫師會

回生病院　山本醫院　大橋醫院　永井醫院　井上耳鼻咽喉科醫院　西田產科婦人科醫院　藤巻醫院　岩竹醫院　松岡醫院　長田醫院　白十字醫院　佐竹醫院　石川醫院

奉天大通　森洋行

三昌洋行

奉天　森林洋行

奉天春日町　近江洋行

奉天浪速通　藤永寫眞店　電二〇五二番

奉天浪速通三二　前田德商店

奉天加茂町五　大成商店

奉天春日町三　中谷時計店

奉天住吉町八　クラブ銀鈴　電三三二三番

松竹經營　平安座　佐伯長太郎

高等演藝館　身上市太郎

奉天旅館組合

奉天三業組合有志

奉天附屬地料理店組合

千代田自動車商會　電五四一七番

謹賀新年　滿洲日報奉天支社員一同

滿洲日報販賣店　弘文堂　義道洋行　大每社　清野新聞店